



りんご?

アップル!!

海部西保育所 ひまわり・すみれ組 英語教育



海陽町議会だより

6月定例会

発行 徳島県海陽町議会 TEL (0884) 73-4164
 編集 広報編集特別委員会 E-mail gikai@town.kaiyo.lg.jp

Vol. **29** (2013.8)

おもな内容

議員定数削減	2P
行政報告	7P
一般質問	8P
委員長報告	13P
シリーズ紹介	15P

議員定数2名削減! 14名に!!

次の海陽町議会議員一般選挙から施行



平成 18 年 3 月 31 日に 3 町が合併し、海陽町として 7 年が経過した。合併時の議員定数は 20 名であったが、平成 22 年 4 月執行の海陽町議会議員一般選挙から 16 名に改正され、現在（1 名欠員 15 名）に至っている。さらに、県内 16 町村のうち海陽町と同じ議員定数は 8 町であるが、既に 4 町が次回の選挙から 2 名減の 14 名に改訂予定である。

海陽町の面積は、議員定数同規模町では那賀町に続き 327.5 平方キロメートルと広く、合併前に比べ（定数 3 町で 36 名）議員の責務が重くなっている。町政、議会への意見の反映等を考えた場合、議員数は多いにこしたことはないが、地域の議員から全町的な議員へという考え方をもとに、議員定数の削減を進めてきた。さらに昨今の地方交付税の減少や税収の落ち込み等を鑑み、住民福祉増進の観点からも行財政改革を図り、住民のニーズに応じていくのが議会の責務とも考える。このことから、次回の選挙より海陽町議会議員の定数を 16 名から 2 名削減し、14 名とする。

千年のいのちを守る！ まちづくり基金10億円！

海陽町千年のいのちを守るまちづくり基金条例を制定しました。
基金活用目的はつぎのとおりです。

- ①南海トラフを震源とする千年に一度の巨大地震をはじめとする地震津波被害から、住民の命と財産を守り、町の復旧復興にかかすことのできる命の道である、阿南安芸自動車道海部道路の整備を促進する。
- ②海部道路と一体的に用地取得及び施設整備を推進する。

地震津波災害に強いまちづくりに要する経費に充てるため、「海陽町千年のいのちを守るまちづくり基金」を設置する。



災害時寸断が心配される R55 号（穴喰那佐）

まぜのおかに

太陽光発電パネル設置

◎公共施設再生可能エネルギー等導入推進事業

4160万円

●事業内容

まぜのおか体育館に太陽光発電装置を設置し、施設内電力の一部として使用すると共に、蓄電システムにも充電し、災害時の自主電源としても活用する。

●事業費内訳

- 設計監理委託料 378万円
- 工事請負費 3782万円

●工事概要

- 太陽光発電パネル設備
- リチウムイオン蓄電システム 15kw×2基
- 発電状況表示及びデータ収集機器設備



まぜのおか体育館

子どもあずかり事業始まる！

長期休暇（夏休み）に子どもあずかり事業を行います。運営主体は「学童保育かしよう」ですが、少子化対策に取り組んでいる町として一部補助金等を出して運営の手助けをしていきます。

- 対象者 町内小学1年生～3年生
- 実施場所 海南小横の旧幼稚園舎
- 実施期間 平成25年度の夏休み（土日祝日、お盆は休み）
- 利用料 800円/日（保険料、おやつ込）
- 昼食 弁当持参
- 利用時間 午前8時～午後6時



未来への投資！
子どもあゆみ事業

子どもあゆみ事業一覧

幼児を対象とした英語教育

町内の幼保施設の3.4.5歳児を対象として英語教育を実施しています。

防災教育

NPOによる小学生への防災教育を実施しています。

子どもあゆみ医療費助成

中学生に対する医療費の助成を行っています。

小学生を対象とした英語教育

小学生に対する英語教育を拡充するため、町内3小学校へ英語教員を配属しています。

小・中学生への給食費助成

地産地消の一環として、小中学校の給食に地場食材の使用回数を増やしています。また保護者の負担軽減を行うため給食費の一部助成をしています。

出会いサポート事業

若者の出会いの場を提供してくれる団体（公的団体に限る）に対して、一回につき10万円を上限とし補助金を交付します。

防災教育

昨年度から実施されている防災教育の教材として「シロのないた海」（昭和南海地震を題材にした絵本）を配布しています。

高さを示す看板。緊急避難所や目につく場所など町内各所に約80カ所に設置予定。地域の防災力を高めるため、その場所がどの程度の海拔であるかを周知します。



電柱に設置された表示板

海拔表示看板設置
80万円

地

域の要望により避難所の手すりや階段などの改修をします。避難所4～5カ所の予定。

津波避難路整備改修費
1000万円

避難所への誘導

看板設置 60万円

震 災発生時に、地域住民がスムーズに近くの避難場所まで避難できるよう誘導するための看板です。

約20カ所に設置予定。電信柱や新たにポールを立てて設置されます。



浅川観音庵への看板

消防団員用ヘルメット 購入(4003) 65万円

地 域防災組織育成助成事業助成金を活用。合併以前からある旧基準のヘルメットを一掃し、消防団員の大事な頭を守るヘルメットを新調します。

副議長あいさつ



副議長

戸田真理子

去る5月20日、議員各位のご推挙をいただき、副議長に就任いたしました。

平成25年度は、町長にとりましても、私たち議員にとりましても、1期4年の最後の年でもあります。

また、平成18年3月の合併で、海陽町が誕生してから8年目の年でもあります。その間に、海陽町としての様々な取り組みや、改革もなされてきましたが、積み残された課題もまだまだ残っております。

その上に、急速な少子高齢化に伴う諸問題、公共事業の減少による経済的影響や、一次産業の活性化等の問題に加えて、地震・津波に対する防災対策などをはじめとした新たな課題も発生しております。

それらの課題改善のために、議会としての良き後押しや、提言ができますよう、議長と共に微力ではありますが、努力をして参ります。

議会のうらぎ

4月1日から
6月30日まで

4月

- 2日 津波救命艇視察（高知市）
- 8日 議会広報編集特別委員会
- 9日 徳島県議定会本部役員会
- 19日 議会広報編集特別委員会
- 19日 議員研修会

5月

- 9日 議会運営委員会
- 10日 第22回徳島県町村議長会議員研修会（つるぎ町）
- 20日 第2回臨時会
- 20日 議会全員協議会
- 28日～29日 第38回議長・副議長研修会（東京都）

6月

- 4日 議会全員協議会・議会運営委員会
- 10日 第2回定例会（1日目）
- 10日 議会運営委員会
- 10日 文教厚生常任委員会
- 11日 産業建設常任委員会
- 12日 総務常任委員会
- 13日 第2回定例会（2日目）
- 17日 議会広報編集特別委員会
- 28日 徳島県議定会臨時総会

第2回定例会・第2回臨時会

第2回定例会

議案の審議

平成25年第2回定例会は、6月10日開会、町長より次の15議案が提出され審議の結果、原案どおり可決され、13日閉会した。

承認関係

専決処分の承認を求めることについて

注釈 ↑ 増額
↓ 減額

- 平成24年度一般会計補正予算(第8号) 10億2662万円 ↑
- 平成24年度国民健康保険特別会計補正予算(第5号) 7939万円 ↓
- 平成24年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号) 160万円 ↓
- 平成24年度介護保険特別会計補正予算(第3号) 893万円 ↓
- 平成24年度浅川公共下水道事業特別会計補正予算(第2号) 50万円 ↓
- 平成24年度海部公共下水道事業特別会計補正予算(第2号) 404万円 ↓
- 平成24年度神野農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号) 1094万円 ↓
- 平成24年度川西農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号) 71万円 ↓
- 平成24年度日比原農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号) 158万円 ↓
- 平成24年度漁業集落排水事業特別会計補正予算(第2号) 13万円 ↓
- 平成24年度川西簡易水道事業特別会計補正予算(第1号) 35万円 ↓
- 平成24年度海部簡易水道事業特別会計補正予算(第2号) 60万円 ↓
- 平成24年度中里簡易水道事業特別会計補正予算(第1号) 493万円 ↓
- 平成24年度鉄道経営安定基金特別会計補正予算(第3号) 8万円 ↓
- 850万円 ↓

繰越明許費に係る繰越計算書の報告について

町道路線の認定について

- 神野前支線 神野前132番地先から22番地1地先まで 337m

条例関係

千年のいのちを守るまちづくり基金条例
認可地縁団体印鑑条例
税条例の一部を改正する条例
手数料徴収条例の一部を改正する条例

予算関係

- 平成25年度一般会計補正予算(第1号) 10億6481万円 ↑
- 平成25年度国民健康保険特別会計補正予算(第1号) 767万円 ↑
- 平成25年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号) 399万円 ↑
- 平成25年度介護保険特別会計補正予算(第1号) 872万円 ↓
- 平成25年度海部公共下水道事業特別会計補正予算(第1号) 8万円 ↓

第2回臨時会

議案の審議

平成25年第2回海陽町議会臨時会は、5月20日開会、次の議案が提出され、審議の結果原案どおり可決された。

承認関係

専決処分の承認を求めることについて

税条例の一部を改正する条例
国民健康保険税条例の一部を改正する条例

条例関係

議会議員定数条例の一部を改正する条例

6月補正予算後の歳入歳出予算

歳入	6月補正	補正後	構成比率
町税	0	6億6,441万3千円	9.4
地方譲与税	0	6,840万円	1.0
利子割交付金	0	290万円	0.1
配当割交付金	0	230万円	0.0
株式等譲渡所得割交付金	0	150万円	0.0
地方消費税交付金	0	7,320万円	1.0
自動車取得税交付金	0	1,000万円	0.1
地方特例交付金	0	130万円	0.0
地方交付税	△976万5千円	36億6,665万8千円	51.8
交通安全対策特別交付金	0	130万円	0.0
分担金・負担金	0	1億5,167万6千円	2.2
使用料・手数料	9千円	5,167万6千円	0.7
国庫支出金	260万9千円	3億1,383万9千円	4.4
県支出金	3,776万2千円	4億5,012万7千円	6.4
財産収入	0	4,257万1千円	0.6
寄附金	0	1,000万円	0.1
繰入金	10億630万円	10億3,124万7千円	14.6
繰越金	0	1,000万円	0.1
諸収入	660万円	7,035万3千円	1.0
町債	2,130万円	4億5,860万円	6.5
合計	10億6,481万5千円	70億8,381万5千円	100.0

歳出	6月補正	補正後	構成比率
議会費	0	7,733万3千円	1.1
総務費	△1,774万6千円	6億8,702万9千円	9.7
民生費	1,164万円	16億7,143万4千円	23.6
衛生費	△637万円	6億1,307万9千円	8.6
農林水産業費	431万3千円	4億352万1千円	5.7
商工費	130万2千円	1億1,888万5千円	1.7
土木費	4,750万8千円	6億993万5千円	8.6
消防費	1,285万8千円	3億8,167万2千円	5.4
教育費	1,131万円	5億3,146万2千円	7.5
災害復旧費	0	1,523万1千円	0.2
公債費	0	9億4,776万2千円	13.4
諸支出金	10億円	10億1,443万円	14.3
予備費	0	1,204万2千円	0.2
合計	10億6,481万5千円	70億8,381万5千円	100.0

- 平成25年度海部簡易水道事業特別会計補正予算(第1号) 55万円 ↑
- 平成25年度上水道事業会計補正予算(第1号) 43万円 ↑
- 平成25年度海南病院事業特別会計補正予算(第1号) 1085万円 ↓

三本の木(和・歩・命)

町長 五軒家 憲次



知事に陳情 2013.5.21

東日本大震災から2年3ヶ月になるが、本当の復興・復旧の障害が政治にあるとするなら、こんな不幸なことはない。「国破れて山河在り」今その詩を思い浮かべると「山河破れて国在り」かと遣る瀬無い思いがする。本年度、我が町の最大

課題である阿南・安芸自動車道の調査費が5月15日、政府で予算化され、事業化に向けての第一歩を踏み出した。飯泉知事始め、多くの方々にかから感謝とお礼を申し上げます。本年度は環境アセスメント、事業効果、ルート

の調査などが実施され、事業化に向けての判断がされる。そうした中、本町として他方本願的な傍観をしていいのかどうか。町がやれることは平行してすべきではないのか。目標としていた三立三助の精神、この推進を住民と一丸となった態度で、行動で示したい。陸の堤防を大いに活かし、住民死者ゼロを目指す、千年後の命を守るという町独自の構図も必要ではないのか。

自動車道の盛り土工法等の適当な場所を買収し、トンネル残土の置き場。また完成と同時にできるだけ平行して、避難場所、避難公園、ヘリポートなどに活用したい。基金10億円を土台に諸制度、補助金制度を活用して、10億円を30億、あるいは50億円にしたい。「人の命は地球より重たい」の格言を目指したい。

5月29日、新聞の社説を見ると、南海トラフ地震という見出しで、前日開催の、政府の中央防災会議作業部会が、「南海トラフ沿いに起きる巨大地震は、現在の科学的見知から高い確率での予知は困難とする」という報告であった。従来の防災・減災の上積み事業、公助の強化についての役割が強く感じられた。

自分30有余年、防災・減災が町の大きな課題として取り組んできた。マスコミから始まり、学者・専門家の自説、それぞれの考え方が言われてきた。また、国・県が大きな想定を出した。千年に1回ならば当然かもわからないが、自分も内心、動揺したのは事実。その反面、町の歴史・地形・環境から、なぜという疑問が出たのも事実。その疑問を投げかけたけれどもボールは帰ってこない。積然としないものはある。生命線として常に言ってきたのは、「想定、ハザードマップは大いに参考にしてください。しかし、信じるな。自分で判断をしてください。より早く、より高く逃げてください」私の責任は、迅速・的確な情報を周知すること。「備えあれば憂いなし」という格言があるが、「備えてなお憂う」を自分は続けている。

津波避難訓練 大里松原 2013.6.23

建物を津波に強い円筒形、舟形にしては？



叶岡 徹 議員

議、避難生活等ができるようにしてはどうか。

〈防災課長〉

財政面も考慮し、防災の観点からも検討したい



津波避難訓練 宍喰小学校 2013.6.8

問 海岸に面した地域の津波避難施設及び公民館等を改修、また建設する時において、建物を津波に強い円筒形に、また舟形にしてはどうか。高さを20m以上にし、中で会

答 谷岡防災課長 公民館等の新築や建て替え等については、地元負担金が必要となる場合もあり、地域住民との協議が必要となるが、整備の際には、避難所としての面積や機能、国・県の補助金などの財政面も考慮し、防災の観点から十分検討したい。

風流マラソンは町に貢献しているのか

〈企画課長〉

1400万円以上の経済効果があった



海部川風流マラソン ボランティアのみなさん

問 海部川風流マラソンを5回実施してきたが、全国で人気度1位となり、参加者の85%がもう一度本町に來たいというふうになっているが、町の活性化にどれだけ貢献し、また経済効果はどれだけあるのか。ボランティアの人たちの意見や感想等実施後話し合いの場をも

答 福岡企画課長 海陽町の大自然や特産品がアピールでき、地域の絆や交流の促進に効果があり、ボランティア意識も芽生えると思う。大会総支出額から推計すると1407万1000円以上の経済効果があったと思われる。

っているのか。

町民に対する接遇は？

〈副町長〉 研修を通じ接遇ができるよう徹底していきたい

問 職員研修を採用5年目までの人を対象に実施しているが、目的は何か。一番重要なのは町民に対する接遇ではないか。副町長としてどのように新人職員に研修をしているのか。特にあいさつ、電話対応等の研修はしているのか。

答 中張副町長 まず知識の習得に励んでもらう、そして職員としての自覚を持つってもらうことが目的。私自身、海陽町に來て1年余りになるが、出勤時に「おはよう」と声をかけてきた。それが人間関係の基本になると思う。電話対応等は、まだ不十分な点はあると思うので、研修を通じ、きちんとした接遇ができるように徹底していきたい。

幼児への体力向上の取り組みは？



長尾 正大 議員

〈町長〉いかにサポートしていくかが課題

問 子ども達の体力低下についての現状認識は。

答 奥原保健福祉課長

平成19年度より4歳児、5歳児検診で保護者の方への外遊びの時間調査を行っている。この結果、休日に3時間以上外遊びをしている家庭は年々減少傾向である。

また幼稚園でも春と秋に体力測定を行い、幼児の体力の現状把握を行っている。その中で、最も顕著に表れているのが、体を両手で支える能力を測定すると、持続時間が年々減少傾向となっている。

問 幼児体力低下は何が原因だと考えているのか。

答 保健福祉課長

保護者の意識の中で外遊びやスポーツの重要性を軽視する傾向が進んだことや、生活が便利にな

るなど、子どもの生活全体が日常的に体を動かす機会の減少や、スポーツや外遊びに不可欠な要素である仲間が少子化の影響により減少したことになり、また偏った食事や睡眠不足など、子どもの

生活習慣の乱れなどが原因だと考えている。

問 子ども達の体力低下についての対応は。

答 保健福祉課長

本町では昨年度、「第二次健康海陽21」という町の健康増進計画を策定した。この計画の中で、特に子どもや子どもを育てる世代を中心として、



海部西保育所

健康づくりの基本となる運動習慣、食習慣などを家庭、学校、地域を含む町全体で取り組んで、健康増進を展開する計画となっている。

それに沿って、保護者の皆様とともによく食べ、よく動き、よく眠るの健康三原則を踏まえた生活習慣を子どもたちが身につけていける環境づくりを行っていきたい。

必要であれば、必要性を感じられれば導入も考えていきたいが、まずは親とのふれあいの場を兼ねて、子ども達の健康づくりを行っていただきたい。

問 具体的な対応で幼児体育指導員など専門の指導員の活用が考えられる。

子どもあゆみ事業の幼児英語教育のように体育の面の専門指導員による、「体育遊びの時間」の導入については。

答 保健福祉課長

まず保育所、幼稚園外や家庭での教育を充実していただき、それを検証して、幼児体育指導員が

問 将来の町を担う子どもたちの質、それは将来の海陽町の質だと思っ

答 五軒家町長

家庭教育、学校教育、社会教育、これが教育の基本である。3つの強い連携により教育は成り立つ。

行政はいかにサポートしていくかが最大の課題である。

一般質問

問

風疹予防対策はどうするのか



原 ひろみ 議員

〈保健福祉課長〉

国・県などの動向を注視しながら検討

今年の風疹患者は、すでに昨年の4倍に増加している。妊婦の感染を予防し、新生児に障害がでないようにするため、抗体のない者に予防接種をするべきである。

問 抗体検査や予防接種を受けやすくするため、経費の一部助成をできないのか。子どもを守るためにも助成すべきと思うがどうか。

答 奥原保健福祉課長
本町においても全国的な風疹の罹患者の増加は承知している。よって、引き続き予防に努めると共に、助成に関しては、国・県などの動向を注視しながら検討していきたい。

海部ジオパーク申請に向けての取組は

〈産業観光課長〉

過去に規模・状態が
ジオパーク認定申請に至らなかった

の連環や浅川の津波の史跡等もある。防災教育や観光資源として海部をPRし、地域振興、活性化に活かしていくべきである。そのためにも海部ジオパークとして申請してはどうか。

答 歌産業観光課長
平成20年度に国土交通省四国運輸局主導により室戸・阿南間におけるジオパーク申請について調査検討が行われたが、海陽町を含む海部郡の地質資源の規模・状態がジオ

問 明年6月に、室戸阿南国定公園が認定されて50周年となる。また室戸は世界ジオパークに認定されている。

海部の地もジオパークを目指せる地質や地形もあり、穴喰

ジオパーク（大地の公園）とは、ユネスコ支援のもとに、世界ジオパークネットワーク（事務局パリ）が推進している。学問上重要な地質や地形を含む一種の自然公園。貴重な遺産を保護し、自然と人間との関わりを理解する場所として整備し、環境教育の場として、また新たな観光資源として地域振興に活かすと共に、保全、活用を通じて持続可能な地域づくりを目指している。

河川の採取土砂の置き場の確保を

〈建設課長〉 確保に向け取り組みたい

パーク認定に至らないだろうとの判断がありその後の活動が休止状態となっている。

問 河川に土砂がたまり、川が川の働きができていない箇所が多くある。これから雨期になるため、県と協力し川の流れの妨げがないよう土砂を取り除いてほしい。一番困っているのは住民である。そのため、早急に採取土砂の堆積場所を確保すべきである。町の遊休地等を利用できないのか。

答 東谷建設課長
河川内堆積土砂の処分、災害による崩壊土砂の処分等、残土処分場の確保は、町として緊急の課題と認識している。県と協議し、処分地の確保に向け取り組みたい。



海部川の砂利 神野

般

質

問

防災上重要な施設の耐震化目標は



小山 慎 議員

〈建設課長〉

県の変更方針に合わせ目標年度を見直す

問 建築物の地震における防災・減災の考え方として、耐震性の確保が非常に重要である。不特定多数の住民が利用する本町所有の公共建築物の総数と耐震化率はいくらか。

答 東谷建設課長

海陽町耐震改修促進計画では、海南文化村文化館、穴喰町民センター、遊遊N.A.S.A、ホテルリビエラの4建築物が該当し、穴喰町民センター以外は耐震性を有している。穴喰町民センターは、本年度耐震改修設計実施予定。

問 耐震改修促進計画の中で、防災上重要な施設については、平成27年度末に耐震化を目指すことを目標にしているが、実現は可能なのか。

答 建設課長

防災上重要な施設の棟数は、現時点で147棟、その耐震化率は66.6%となっている。法律により耐震化の目標年度が27年とされているが、本町は現在見直し中の徳島県耐震改修促進計画の変更方針に合わせて、目標年度を見直す。

問 災害対策の中で、避難救護活動の拠点となる施設を防災上重要な施設として位置づけており、その中に地域にある集会所等も含まれている。今後、こういう施設も耐震化を図っていくべきと考えるが、どうか。

答 左海教育次長

集会所が避難所に指定されているかなど、重要度に応じて、また施設の状態や財政面などを考慮して対応していきたい。

問 耐震化工事には多額の費用が必要である。現在の地元負担率でいく

と、地域だけでは到底まかなえない金額となる。条例を改正して、もっと軽減すべきと考えるが、町長の見解は。

答 五軒家町長

耐震ではなく、新築にやり変えた方がいい場合も出てくるかもしれない。十分熟慮した上で判断し、条例も直すべき所は直す考えである。

通学路にある歩行者用信号機の設置実現に向けて

〈町長〉できないのであれば
要望を続けていきたい

問 昨年、全国的に集団登校中に車による事故が発生し、通学路の交通安全について社会的に関心が高まっている。本町においても、通学路の緊急点検を実施しているが、安全対策が必要な箇所は総数と対策完了状況は。

答 教育次長

安全対策が必要とされたのは、28箇所であった。そのうち26箇所については完了済である。ハード面での対策が困難な箇所については、PTAの立哨などにより対処する。

本町の基本理念である「安全・安心なまちづくり」の観点から、子どもや高齢者等の交通弱者の立場に立った優しい道づくりのために、行政として警察に対し、設置実現に向けた力強い後押しをしていただきたいが、町長の見解は。

答 町長

町単独で出来るか出来ないか、公安委員会の指導に基づいて設置すべきものか検討し、できないのであれば要望を続けていきたい。

問 穴喰地区における、緊急点検時の安全対策に関する要望として、通学路にある交差点の信号機に、歩行者用信号機を設置して欲しいとの要望に対し、警察担当者は設置の予定はないと回答している。



穴喰庁舎横交差点

般

質

問

川の砂利を高規格道路に使えないか



三浦 茂貴 議員

〈町長〉一つの発想かもしれない

問 事業化に向けて調査が行われる阿南・安芸自動車道。基幹道路として、更には津波から人命を守る陸の堤防として非常に期待される。道を作る時の盛土部分に川の砂利や海の砂利は利用できるのか。

答 東谷建設課長

徳島県は、河川砂利の採取を原則禁止していたが、昨年、災害予防と利用促進の観点から、堆積砂利を活用する方向が示された。今後計画の阿南・安芸自動車道について、盛土材料その他用途に利用可能と判断されれば、国・県に対し、積極的な活用を要望する。

問 今後、海部川の砂利や松原の砂利を道路工事に利用してもらえないか

開票事務をアルバイトで対応できないか

〈町長〉選管の意見を聞きたい

問 選挙の投票、開票に関わる事務の職員拘束時間はどのくらいなのか。それに対する時間外勤務手当はいくらかかるのか。平均して一時間一人いくらの時間外勤務手当がかかっているのか。

答 浦川総務課長

昨年の衆議院議員総選挙において、拘束時間については、基本的に投票事務が13時間、開票事務が6時間。職員の人件費については、総額370万円で、

平均で1時間あたり1400円。

問 選挙の度に投票の事務従事者のアルバイトを募集している自治体もある。海陽町でも募集してみればと思うが、町長の見解を聞きたい。

答 町長

選挙は厳選・厳格にやらないといけない。選挙管理委員会の意見を聞きたい。



参議院選挙開票 2013.7.21

町有地の管理方法は

〈管財課長〉
巡回や草刈をしている

問 現在利用されていない町有地はどのくらいあるのか。その中で、居住区にある町有地や、目に付く場所にある土地などの管理をどのようにしているのか。

答 富田管財課長

貸付をしている土地を除くと71筆。巡回や住民からの依頼により、年1回程度の草刈り管理を役場各課で協力して行っている。

海陽町議会では、総務・文教厚生・産業建設の3常任委員会を設置しています。
 本会議から付託された議案を6月10日、11日、12日に開催された各常任委員会で活発に審議をしました。

総務常任委員会

千年のいのちを守る まちづくり基金条例制定

委員長 池下 嘉郎

6月12日開会。

専決処分について。平成24年度一般会計補正予算については、10億2662万円を追加し、88億4337万円とする。

歳入では普通交付税、特別交付税合わせて9億3740万円追加し、平成24年度の普通交付税が42億6130万円、特別交付税5億7560万

円であり、前年度繰越金の補正に必要となる一般財源として、1億2439万円を計上し、町債では海部消防組合の消防救急無線デジタ

ル化事業などの減額により、緊急防災・減災事業債で1040万円の減額である。

歳出では年度末の実績による予算調整で、議会、総務、国土地籍調査、住宅管理費等合わせて

1384万円の減額。消防費が23年度精算による海部消防組合負担金の減額により2281万円の減額となった。

諸支出金の基金費では、24年度に確保された財源を各基金に合計12億216万円を積立。うち、財政調整基金に10億円、減債基金に2億円を積立する。

海陽町千年のいのちを守るまちづくり基金条例について。阿南・安芸自動車道の整備を促進し、一体的に用地取得や施設整備により、災害に強い

まちづくり基金を今年度補正で10億円積立する。

平成25年度一般会

計補正予算については、10億6481万円を追加し、70億8381万円とする。

主なものについて歳入では、千年のいのちを守るまちづくり基金の財源に財政調整基金を10億円繰入。町債では津波避難路整備に緊急防災・減災事業債を1000万円計上。

歳出では公営住宅管理費472万円。津波避難路整備工事費に1140万円。千年のいのちを守るまちづくり基金に10億円積み立てる。

町長より、突喰にある県の教員住宅は、現在入居している方が1名と聞いている。県教育委員会に今後の管理方針を伺い、その後、次の段階に入りたいとのことである。

「緊急事態基本法」の早期制定を求める意見書提出を求める要望書、伊

方原発の再稼働を行わず、エネルギー政策の転換により脱原発社会をめざすことを国に求めることに関する陳情書については、継続審議とすることとした。



突喰にある県の教員住宅



馬谷・白水の高台への避難訓練

文教厚生常任委員会

子どもあずかり事業はじまる

委員長 長岡秀一郎

6月10日開会。

専決第1号から専決第4号については、実績に伴う精算による減額である。委員から町費で採用されている教職員は何人かとの質問に対し、小学校7名、中学校4名、計11名との回答であった。

平成24年度末国保財政調整基金残高は6173万円。介護保険給付準備金として1400万円の積立をし、平成24年度末準備基金積立金残高は4454万円となっている。

繰越明許費に係る報告は、海南小学校、海陽中学校の避難用外部階段設置工事である。2件とも全額繰越となっているが、夏休み期間中を目処に完



津波避難階段の工事が進む海陽中学校

成予定との報告を受けた。平成25年度一般会計補正予算、福祉関係では国保特別会計繰出金696万円、わしずみ荘

送迎用車購入費421万円、後期高齢者医療特別会計繰出金399万円、民設民営の二葉保育園・恵の園保育所に対して処遇改善補助金183万円、旧海南幼稚園を利用する子ども預かり事業費630万円。教育関係では、職員の異動に伴う74万円、町費臨時教員賃金30万円、海陽

中学防災ボランティアランティア事業費20万円、幼稚園職員の異動に伴う給料等405万円、宍喰中学校の夏休みを利用し2泊3日で実施する防災キャンペーン推進事業費48万円。以上が一般会計である。平成25年度国民健康保険特別会

計補正予算は、高齢者特定継続世帯に対するシステム改修費等767万円。平成25年度後期高齢者医療特別会計補正予算は、人事異動に伴う人件費399万円。

平成25年度介護保険特別会計補正予算は、減額補正。別会計補正予算は、減額補正。海南病院事業会計補正予算は、3月末退職した薬剤師等の給料手当法定福利費1080万円の減額である。

産業建設常任委員会

まぜのおかに太陽光非常用電源設置

委員長 高島 武夫

6月11日開会。

専決処分承認を求めることについては、主なものは、県営林道開設事業「石吹越線」160万円、竹ヶ島橋及び浅川橋の委託料350万円、二葉保育園裏山の崩壊対策事業430万円、不良住宅取り壊し補助金52万円は、共に事業の実績及び精算による減額補正である。不良住宅の取り壊しの要

望は、まだ約20件あり現在は募集を中止してい



軟弱野菜（コマツナ・ミニチンゲンサイ）大井地区

町道路線の認定については、神野前支線、延長337m、幅員0.9m、現神野前線は4.0m。行き止まりで、消防・救急活動や日頃の生活に支障となっており、今後道路改良工事を実施し地域住民の福祉と利便性の向上のため提案する。一般会計補正予算の主なものでは、「林道茅尾地の内線」の残土処分場整備と終点部の回転場の設置の工事請負費237万円、宍喰地区排水機場4箇所の保守点検委託料

126万円、とくしま明日の農林水産業づくり事業補助金235万円は、富田農産組合に田植え機・熟田営農組合に畦塗り機他・JAかいふにパイプハウス整備の補助をするものである。公共施設再生可能エネルギー等導入推進事業4160万円は、まぜのおか体育館に太陽光発電施設を設置するもので、通常は体育館の電源の一部に災害時には非常用の電源として使用するものである。蓄電システムは30キロワットあるが何時間使用可能であるのかの問いに、使用量によるが完成後試運転したいとのことであった。その他として海陽町内の県事業の資料、竹ヶ島橋耐震補強工事の進捗状況、まぜのおか15周年特別イベント「夏音楽」、海陽町元気になる「和」事業の軟弱野菜プロジェクトの説明を受けた。

4回シリーズ
紹介①

株式会社 漁火

今回は、第3セクター方式（国または地方公共団体が、民間企業と共同出資によって設立した法人）で運営されている（株）漁火について紹介します。

この会社の代表取締役社長は、五軒家憲次海陽町長です。

- 事業内容 ふれあいの宿遊遊NASA・ホテルリビエラしきくい・道の駅穴喰温泉などの管理運営を受託業務とする。
- 設立経緯 平成7年6月8日 (株)アクアタウン穴喰設立 (旧穴喰町)
平成9年7月1日 (株)漁火設立 (旧海部町)
平成18年3月31日 旧海南・海部・穴喰3町が合併し海陽町となる
平成19年8月1日 (株)アクアタウン穴喰を(株)漁火に業務統合する
- 資本金 **9,972万円**
- 発行済株式総数 **2,732株**
- 株主 **海陽町 2,146株 (78.55%)**
外17団体 586株 (21.45%)
- 役員数 取締役 12名 (うち町関係者3名) 監査役 2名
- 従業員数 正社員 19名 パート 50名
- 平成24年度実績

当期売上高 **3億4,814万4,989円**
当期純損失額 **497万4,883円 (赤字額)**

	宿泊者数 (人)	入浴者数 (人)
遊遊 NASA	9,033	6,886
ホテルリビエラ	8,107	73,393
道の駅穴喰温泉	477	
合計	17,617	80,279

※ 新たな試みとしてレストラン潮（遊遊NASA）・ベガ（ホテルリビエラ）・アリタリア（道の駅）において、海陽町の特産品である阿波尾鶏を使った新メニューも展開中です。町民の皆様のご利用をよろしく願いいたします。



遊遊 NASA



ホテルリビエラ



道の駅穴喰温泉

活動内容を教えてください。

チームはフットサルが好き
な40～20代と幅広い世代の
メンバーで楽しくやっています。
年齢や経験の有無は全く
問いません！興味がちょっと
でもある、またはやってみた
いなあと思う人、是非一緒に
やりましょう。また女子チー
ムもあるので女性の方も大歓
迎です。



ナイスシュート！（ショット）



女性もいっしょに
楽しく練習してい
ます（毎週月曜日・
野江町民体育館）



海陽町のいいところは？

環境も素晴らしく、暮らしやすい町だと思います。

海陽町に対する
要望はありますか？

夏場だけになりますが、熱中症予防に
ウォータークーラーや扇風機等の設備があ
ればありがたいです。

議会だよりを読んでいますか？

読んでます！



編集後記

6月議会定例会も終了し、
今年も半年が過ぎようとして
います。

副議長改選により、広報編
集特別委員会の委員長も変更
になり、新体制で取り組んで
います。読みやすく、わかり
やすい議会だよりを目指し、
毎回努力し発行しております。
皆様も議会の傍聴にぜひ来
ていただき、様々な声を聞か
せてほしいと願っております。
(原)

議会広報編集特別委員会
議会事務局
TEL7314164(直通)